

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○生活リズムを整えよう。

○こころの健康について理解を深め、こころの健康を大切にしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

3. 休養・こころの健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・うつ病G-Pネット	草津栗東医師会において、うつ病G-Pネット(一般医、精神科医ネットワーク)づくりを推進します。	医師会	●草津栗東医師会において、うつ病G-Pネット(一般医、精神科医ネットワーク)を推進する。 ●日常診療や産業医活動を通じて、うつ病対策をすすめる。 ●産業医活動、ストレスチェックを通じて、メンタルヘルスの推進を図る	●草津栗東医師会において、うつ病G-Pネット(一般医、精神科医ネットワーク)を推進した。 ●日常診療や産業医活動を通じて、うつ病対策をすすめた。 ●産業医活動、ストレスチェックを通じて、メンタルヘルスの推進を行った。	B	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 15歳以上男性 25.9% 15歳以上女性 31.3%	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 15歳以上男性 30.4% 15歳以上女性 34.2%	C C	↘
・うつ病患者の発見と専門医への受診の勧め	うつ病患者の発見と専門医への受診指導に努めます。	薬剤師会	●「不眠症」、「子育て」、「心の病気」等ごとに、声掛け方法や啓発資材を分類して啓発。関係機関からの関連資材のご提供・ご提案を頂きながら勧奨を実施	主に服薬指導時に実施 近年では健康サポート薬局だけでなく通常の薬局の取組として健康相談会を実施する機会が多くなっている。 実施回数は任意のため把握せず。	D	ストレスや不満、悩み等を感じている者の割合の減少 15歳以上男性 17.8% 15歳以上女性 25.8%	ストレスや不満、悩み等を感じている者の割合の減少 15歳以上男性 25.7% 15歳以上女性 26.5%	C B	↘
・退職後の自主活動グループの支援	退職後の男性の活躍の場として、自主活動グループの支援を行います。	社会福祉協議会	●地域の退職シニアを中心とした人材の発掘 ●退職シニア等への活動の場の紹介と啓発 ●退職世代向けボランティア養成講座の開催 ●「栗東ふあざ〜ず倶楽部」活動支援	社会福祉協議会 ○「栗東おやじ塾」開催(4回) ○栗東ふあざ〜ず倶楽部の活動照会 ○「栗東ぐるり見守り隊」講座開催(3回)		地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ人の増加 15歳以上男性 28.8% 15歳以上女性 19.8%	地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ人の増加 15歳以上男性 17.3% 15歳以上女性 16.6%	C C	↗
・高齢者サロン・子育てサロンの開催の支援	高齢者の生きがいづくり、子育て不安の解消や情報交換の場として、小地域で行うサロン活動等を支援します。	健康推進員連絡協議会 民生委員児童委員協議会 社会福祉協議会	●各地域で、高齢者サロンや、老人クラブの開催や協力 ●サロン活動等運営支援 ・助成事業による支援 ・出前講座による支援 ・サロン交流会の実施等 ●子ども食堂を通じた地域のつながりづくりの推進	社協 ○各サロン・老人クラブ等への出前講座(20回) ○赤い羽根共同募金助成事業実施 ○サロン交流会の実施(1回) ○子ども食堂支援 民生委員 随時	B				
・児童の放課後の居場所づくりの支援	平日の放課後や夏休みなどの長期休暇期間中、地域の協力を得て、小学校区ごとに放課後子ども教室を開催します。遊びやスポーツを通じて、異学年の交流、地域住民との交流を推進します。	生涯学習課 栗東市地域教育協議会	●子どもたちの安全を配慮し活動場所、内容の変更や中止といった対策を行った上で支援を実施 ●新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は5学区での開催でしたが、次年度以降影響がなければ元に戻します。	8小学校区で概ね6月から2月まで開催。 スタッフ登録者数 83名 開催回数 200回	B	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 88.5% 中学生(中3) 74.4%	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 84.3% 中学生(中3) 76.9%	C A	↗
・あいさつ運動の推進	見守り活動および各学校の校門において、あいさつ運動を実施します。	民生委員児童委員協議会	●挨拶運動の推進と見守り活動	民生委員 随時	B				

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○生活リズムを整えよう。

○こころの健康について理解を深め、こころの健康を大切にしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

3. 休養・こころの健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・高齢者ゆうあい訪問の実施	定期的または個別に安否確認や状況の変化の把握のために、家庭訪問を実施します。	民生委員児童委員協議会	●高齢者ゆうあい訪問の実施	一人暮らしの高齢者や見守りを必要とする高齢者には、電話やお手紙にて日常生活・体調の変化等を随時把握するようにしている。	B	地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ人の増加 15歳以上男性 28.8% 15歳以上女性 19.8%	地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ人の増加 15歳以上男性 17.3% 15歳以上女性 16.6%	C C	↗
・「くりちゃん元気 いっぱい運動」の推進	「くりちゃん元気いっぱい運動」(早ね・早おき・朝ごはん)を推進します。	市立小中学校 幼稚園・保育園・幼児園	小学校 ●朝食摂取状況調査の実施。 ●学校便りや保健だより等で家庭との連携が図れるように発信。また、基本的な生活習慣が身につくように発達段階に合わせて集団や個別で指導。 中学校 ●「早寝・早起き・朝ごはん」啓発週間の実施	小学校(養護教諭部会) ●朝食摂取状況調査の実施。 ●学校便りや保健だより等で家庭との連携が図れるように発信。また、基本的な生活習慣が身につくように発達段階に合わせて集団や個別で指導。 中学校(養護教諭部会) ●「早寝・早起き・朝ごはん」啓発週間の実施	B	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 88.5% 中学生(中3) 74.4%	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 84.3% 中学生(中3) 76.9%	C A	↗
・体験学習の充実	異学年交流や福祉体験、職場体験などの体験的な学習、こころの健康や命の大切さを学ぶ学習の充実に努めます。	市立小中学校	小学校 ●居住地交流の実施 ●縦割り活動の実施 ●保幼小交流の実施 ●福祉体験などの体験的な学習の実施。 ●助産師による「いのちの大切さ」の学習を参観日に実施する。 ●話し方や伝え方を身につけるための学習や自尊感情を高めるための学習をする。 ●スマイルウィークを毎月実施し、スマイル委員会主催で全校児童が笑顔になれる活動呼びかける。 ●障がいのある方との交流会を計画を行う。(2年・5年) ●聾話学校との交流会(各学年)を計画を行う。 ●「うみのこ」での他の学校との交流 中学校 ●職場体験学習の実施 ●助産師の先生による性教育講演会の実施 ●班別に滋賀県のいろいろな地域に向き、郷土の良いところを知る ●ふれあい体験学習(幼児園との交流) ●ボランティア活動への参加 ●障害者理解学習の実施 ●こころの健康や命の大切さを学ぶ学習の実施。	小学校(養護教諭部会) ●居住地交流の実施 ●縦割り活動の実施 ●保幼小交流の実施 ●福祉体験などの体験的な学習の実施。 ●助産師による「いのちの大切さ」の学習を参観日に実施する。 ●話し方や伝え方を身につけるための学習や自尊感情を高めるための学習をする。 ●スマイルウィークを毎月実施し、スマイル委員会主催で全校児童が笑顔になれる活動呼びかける。 ●障がいのある方との交流会を計画を行う。(2年・5年) ●聾話学校との交流会(各学年)を計画を行う。 ●「うみのこ」での他の学校との交流 中学校 ●職場体験学習の実施 ●助産師の先生による性教育講演会の実施 ●班別に滋賀県のいろいろな地域に向き、郷土の良いところを知る ●ふれあい体験学習(幼児園交流) ●ボランティア活動への参加 ●障害者理解学習の実施 ●こころの健康や命の大切さを学ぶ学習の実施。	B				

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○生活リズムを整えよう。

○こころの健康について理解を深め、こころの健康を大切にしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

3. 休養・こころの健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・教育相談やアンケートの実施	児童生徒に対する定期的な教育相談やアンケートを実施し、いじめ等の早期発見に努めます。	市立小中学校	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育相談週間(担任と児童一人ずつの面談)を年2回実施 ●月2回、保護者相談を実施する。 ●いじめや教育相談に関するアンケートを実施する。 ●市教育委員会主催の「ココロの健診日」を月2回実施予定。児童や保護者相談に活用する。 ●スクールカウンセラーによる児童のアセスメントや保護者懇談の実施。 ●保護者が担任や担任外の教師に相談できる機会を設け、SCとの希望面談を設定し、支援室にもつなげる。(児童の面談も設定) <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いじめアンケートを実施する。(年3回) ●必要時、SCとの相談を実施する。 ●定期的に健康相談を実施する。 ●講師を迎えて、人権について学ぶ。 ●生活アンケートの実施(7月・10月・1月) ●担任と生徒一人ずつの面談 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育相談週間(担任と児童一人ずつの面談)を年2回実施 ●月2回、保護者相談を実施する。 ●いじめや教育相談に関するアンケートを実施する。 ●市教育委員会主催の「ココロの健診日」を月2回実施予定。児童や保護者相談に活用する。 ●スクールカウンセラーによる児童のアセスメントや保護者懇談の実施。 ●保護者が担任や担任外の教師に相談できる機会を設け、SCとの希望面談を設定し、支援室にもつなげる。(児童の面談も設定) <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いじめアンケートを実施する。(年3回) ●必要時、SCとの相談を実施する。 ●定期的に健康相談を実施する。 ●講師を迎えて、人権について学ぶ。 ●生活アンケートの実施(7月・10月・1月) ●担任と生徒一人ずつの面談 	B	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 88.5% 中学生(中3) 74.4%	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 84.3% 中学生(中3) 76.9%		
・高齢者の生きがいづくりと社会参加・参画の推進	はつらつ教養大学や社会教育事業などの機会を提供し、高齢者の生きがいづくりや健康増進を推進します。また、高齢者が地域社会の担い手として活動する重要な場となっている老人クラブ活動ならびに栗東100歳大学卒業生の活動を支援します。さらに、いきいき活動ポイント事業を実施します。	生涯学習課 長寿福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ●栗東100歳大学の実施 また、シニアが活躍できるまちづくりを進めるにあたっての方針(提言)を、第6次総合計画や第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に反映させる。 栗東100歳大学卒業後に社会参加活動が広がるよう支援する。 ●はつらつ教養大学は「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」の生涯学習の実践、生きがいづくりや健康増進を目指し実施 ●新型コロナウイルス感染症の影響により、本来各学区5回の開催のところ、令和3年度は3回の開催となり、令和4年度は5回を予定しているため。 	<p>生涯学習課</p> <p>はつらつ教養大学 開催回数 45回 うち 健康運動 9回 健康維持講座 9回 認知症予防講座 5回</p> <p>長寿福祉課 第7期栗東100歳大学開講 全30回</p>	B	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 15歳以上男性 25.9% 15歳以上女性 31.3%	睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 15歳以上男性 30.4% 15歳以上女性 34.2%	C C	↘
・こころの健康づくりの啓発	自殺予防週間「いのちの日」にあわせてこころの健康、自殺予防の啓発を行います。	障がい福祉課	●自殺予防週間(9月10日～9月16日)にあわせ、啓発品を配布。	●自殺予防週間(9月10日～9月16日)にあわせ、啓発品を配布。	B	ストレスや不満、悩み等を感じている者の割合の減少 15歳以上男性 17.8% 15歳以上女性 25.8%	ストレスや不満、悩み等を感じている者の割合の減少 15歳以上男性 25.7% 15歳以上女性 26.5%	C B	↘
						地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ人の増加 15歳以上男性 28.8% 15歳以上女性 19.8%	地域の人たちとのつながりが強いほうだと思ふ人の増加 15歳以上男性 17.3% 15歳以上女性 16.6%	C C	↗

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○生活リズムを整えよう。

○こころの健康について理解を深め、こころの健康を大切にしよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

3. 休養・こころの健康

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
	精神疾患や自殺についての正しい知識の普及や市の相談窓口の周知のためのリーフレットの配布、広報「りっとう」での情報提供、研修会の開催など、こころの健康づくりの啓発を行います。	障がい福祉課 健康増進課	●自殺対策月間(3月)にあわせ、相談機関等を掲載したチラシを広報りっとう3月号に折込み ●こころの健康づくり研修会を開催 商工観光労政課と連携し、企業等を対象に実施。	障がい福祉課 ○自殺対策月間(3月)にあわせ、相談機関を掲載したチラシを広報りっとう3月号に折込み ○自殺予防週間(9月)の啓発記事を広報9月号に掲載 ○企業訪問にあわせて自殺予防に関するパンフレットを配布(7月、2月) 健康増進課 こころの健康づくり講演会を開催 12月6日参加者19名	B				
・ゲートキーパー研修の実施	ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなぎ、見守る人です。自殺対策として、相談窓口職員や地域の相談を担う人等を対象としたゲートキーパー研修を実施します。	障がい福祉課	●市職員、関係機関を対象に自殺予防研修会を実施	●市職員、関係機関を対象に自殺予防研修会を実施予定	B				
・「ありがとうが言える子育て」運動の推進	子どもたちが良好な人間関係を築くための力を身につけられるよう、市内の学校や園を中心に、保護者や地域、各種団体と連携して「ありがとうが言える子育て」運動を推進します。	生涯学習課 学校教育課 幼児課	●栗東市いじめ防止基本方針に則り、いじめ防止対策を実現する。 ●各学校を訪問し、いじめ問題への取組進捗を確認することでいじめ問題への意識の高揚を図る。 生涯学習課 「栗東市子育てのための12か条」推進 学校教育課 「栗東子育てNextプロジェクト」と関連付けて、非認知能力の一つである「他者とつながる力」の育成に向けた取り組みを行った。 幼児課 園だよりへの掲載等で保護者啓発を行いました。	生涯学習課 7月に推進会議を開催し、賛同団体への取組みの協力依頼を行った。また、市広報12月号に掲載し啓発を行った。 学校教育課 非認知能力を身につけられるよう、中学校区での共通実践など、家庭・地域・学校園が連携して取り組むことができた。 幼児課 園だよりへの掲載や家庭との連携の中で子どもの遊びの姿を非認知能力の育ちを視点に伝えました。	B	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 88.5% 中学生(中3) 74.4%	「学校が楽しい」と答えた児童生徒の増加 小学生(小6) 84.3% 中学生(中3) 76.9%	C A	↗
・いじめ防止の取り組み	いじめ防止のための対策を総合的・効果的に推進するため、「栗東市いじめ防止基本方針」に基づいた取り組みを推進します。	学校教育課	幼児課 園だよりへの掲載等で保護者啓発を行いました。	「栗東市いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめ防止のための対策を推進することができた。	B				